

【次年度へ向けての課題】

- ・常に余裕を持つこと。柔軟な考えを持つことを目標に日々頑張っていく。
- ・担任同士で話し合いを重ねて取り組んでいるので次年度も話し合いを行っていききたい。
- ・子どもの可能性を信じ「やりたい」と思うことに寄り添いたい。
- ・個々の発達や成長を考え子どもと向き合い、一人ひとりに合った保育ができるようにすること。
- ・子どもとの距離感や言葉を改めて意識し、子どもたちが安心して過ごせる環境でいられるようにしたい
- ・気づいた時に率先して行ったり、声掛けができるようにしていきたい。
- ・挨拶や御礼、思いやりなど心が動き進んで取り組めるようにしたい。
- ・異年齢保育のメリットを最大限に生かし、子どもたちが降園まで安心して過ごせるあたたかい家庭的な環境、雰囲気作りをしていきたい。
- ・視野を広く、ゆとりをもって子どもたちや先生方と関わっていけるようにする。
- ・子どもの様子、時期によって環境構成を考え整えることが必要だと感じました。

【次年度への取り組み】

- ・保育室の環境などでコーナー遊びやその子の興味関心がある物を見極め集中できる環境を整える
- ・五感を刺激するようなワクワクする活動を週案に取り入れ実行する。
- ・反省などをもとに改善していける部分はすぐに改善していきたい。
- ・一人ひとりの人格を尊重した関わりを意識し、個人を理解することに努めていきたい。
- ・保育を語る機会を設けるようにする(アウトプット)
- ・絵本をもっと楽しみ、家庭でも親子で絵本タイムなどを作れるきっかけになったらと考える。
- ・子どもたちが何を感じているのか、どんなことをしたいのか、どんなものを作りたいかを子どもたちと考え進めていきたい。
- ・子どもの声から保育を展開していきたい。
- ・今必要なことを判断して保育を行っていききたい。
- ・保護者にとっても居心地がよくあたたかな環境を作っていきたい。
- ・自分にできることは何かを考え気づきを発信していきたい。
- ・子どもたちの発達を見通した保育をする。
- ・玄関で保護者、子どもが季節を感じられたりする環境を作っていきたい。
- ・共に生活することを楽しんでいきたい。
- ・園の教育理念や教育方針を再度考え、園が目指している子どもの姿に近づけることができるよう保育をしたい。
- ・子どもの様子、興味のある物にそって計画していきたい。